

第4期横浜市港南区民文化センター 第1回指定管理者選定評価委員会 議事録

開催日時	令和3年2月17日（水） 午前9時30分～午前11時15分
開催場所	港南区役所5階 地域協働ルーム
出席者	太下委員、小川委員、影山委員、菅原委員（計4名）
欠席者	宮田委員（計1名）
開催形態	公開（傍聴人無し） 議題1（3）から非公開
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 横浜市港南区民文化センター指定管理者選定委員会について</li> <li>2 指定管理者応募書類について</li> <li>3 指定管理者選定方法について</li> <li>4 その他</li> </ol>
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員長として影山委員が、職務代理者として太下委員が選出された。 会議の公開・非公開について、次のとおり決定された。 第1回選定委員会：議題1（2）「会議の公開・非公開について」までを公開、議題1（3）「指定管理者選定の日程について」以降を非公開とする。 第2回選定委員会：応募団体による、プレゼンテーションと質疑応答までを公開、その後の委員による審査部分を非公開とする。</li> <li>2 指定管理者応募書類（案）について了承。</li> <li>3 指定管理者選定方法について了承。</li> </ol>
委員意見等・審議結果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 指定管理者選定委員会について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 委員長の選出について 横浜市港南区民文化センター指定管理者選定評価委員会運営要綱に基づき、委員長には影山委員が互選により、職務代理者には委員長の指名により太下委員が選出された。</li> <li>(2) 会議の公開・非公開について 原則公開とするが、次のとおり、非公開とすることを事務局から提案し、委員に了承された。 第1回選定委員会：議題1（2）「会議の公開・非公開について」までを公開、議題1（3）「指定管理者選定の日程について」以降を非公開とする。 第2回選定委員会：応募団体による、プレゼンテーションと質疑応答までを公開、その後の委員による審査部分を非公開とする。 [主な質疑応答] 〈委員〉 公開というのは議事録を公開することか、あるいは委員会の現場をオープンにすることか。 〈事務局〉 本日は傍聴人不在だが、委員会を公開とした場合、委員会に傍聴人の席を用意する。 また議事録については、事務局が案を作成し、委員長が確認した後、区ホームページ上で公開する。</li> <li>(3) 指定管理者選定の日程について 日程（案）について事務局から説明を行った。 [主な質疑応答] 〈委員〉 現地見学会が1日だけの設定なのは、指定管理者の業務に支障がないようにということか。 〈事務局〉 業務上の配慮に加えて、これまでも1日の設定で特に支障がなかったため、今回も1日で設定している。</li> </ol> </li> </ol>

以上の質疑応答の後、案のとおり了承された。

## 2 指定管理者応募書類について

公募要項（案）、業務の基準（案）、提案課題及び様式集（案）について事務局から説明を行い、議論された。

[主な質疑応答]

〈委員〉 業務の基準(P.25)使命2について、定性指標「①子どもたちや学校の定性分析」とは何を想定しているのか。

〈事務局〉 未来の文化を担う子どもたちへのアプローチを重視している。現在の指定管理者も合唱コンクールの歌唱指導などの支援をしている。

〈委員〉 コロナウイルス感染症に伴うリスクは今後も想定されることであるから、収入と支出の差額の部分については補填するなど区の基本的な考えを書いておいた方が良いのではないか。

応募事業者がリスクを読めないと判断した場合、手を挙げないことも考えられ、公正に選出できなくなる可能性がある。

〈事務局〉 具体的な記載方法について、ご相談させていただきたい。

〈委員〉 業務の基準(P.24)使命1 定量指標の「総来場者数」の表記について、文化施設はコロナウイルスの影響で必ずしも人が来なければいけないのかという問題に直面している。異なる表現の方が良いのではないか。「総来場者数」は経営上の参考値にはなるかもしれないが、指定管理者応募上の指標ではないと考える。

〈事務局〉 指標の文言について、ご相談させていただきたい。

以上の質疑応答の後、案のとおり了承された。

## 3 指定管理者選定方法について

指定管理者評点表（案）、選定の評価及び審査方法（案）について事務局から説明を行い、議論された。

[主な審議内容]

〈委員〉 継続で応募する事業者は過去の実績があるが、新規参入の事業者が提示してきたものは、どのように評価すれば良いのか。

〈事務局〉 事業者から提出された資料を見ていただき、実際にプレゼンの場で疑問点などを聞いていただくことが可能である。

〈委員〉 新規参入の事業者の提案内容が適正かどうかの基準がないのか。

〈事務局〉 業務の基準に応募事業者に求めるものを記載している。

提案書類に第三者評価の結果を同封するが、それが現在の事業者の評価であり、その設問が一つの参考になるかと思う。

〈委員〉 公募要項の評価基準項目について、「施設の使命を達成するための提案」が最も多くの評点を占めるため、指標の内容が非常に重要になると思う。慎重に考えてほしい。

収入計画及び指定管理料の「利用者増」という表現についても、必ず利用者の増加を見込まなければいけないのか。「適切な水準を確保する」という表現が正しいのではないか。

〈事務局〉 表現方法をご相談させていただきたい。

〈委員〉 評点表は第2回選定委員会に持参するのか。

〈事務局〉 事前に郵送かメールで送付し、1週間前くらいまでに返信をお願いする予定。

〈委員〉 合計点まで書くのか。

〈事務局〉 評点だけ記入していただければExcelで自動計算される。

〈委員〉 応募した事業者が市内中小企業ではあるかということについて情報はもらえるのか。

〈事務局〉 事務局で入力して送付する。

〈委員〉 収支計画の判断については、宮田委員の意見を聞いておくと参考に判断しやすいと思う。

〈事務局〉 当日、応募事業者プレゼンの後の協議時に発表いただく方向で考えていたが、事前に送付したほうがよいか。

〈委員〉 事前に各委員が各々の考えで評点を入れ、当日宮田委員の意見を聞いて、変更があれば変更するという方法でよいと思う。

以上の質疑応答の後、案のとおり了承された。

#### 4 その他

第2回指定管理者選定委員会については8月18日(水)に開催予定。

委員会内で議論された資料について、以下の通り変更。

(公募要項 P12) 参考として、不可抗力が発生した場合の令和元年度と2年度の市の負担に関する考え方と負担実績を追記。

(業務の基準 P24、提案課題及び様式集 様式16-2)

「総来場者数」の表記を「来場及びWEB参加等他の手法を用いた総参加者数」に変更。

(業務の基準 P25) 使命3「参加者満足度」について、「定量」指標から「定性」指標に変更。

(公募要項 P16) 5「収支計画及び指定管理料について」5-1「利用者増」の表記を削除。